

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

○事業所名	LEGONKids天満宙組			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～	2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	職員数が多い	複数人での訪問をベースし、いろいろな気づきがあるようにしている。	さまざまな職員が関わることで偏った意見ではなく、いろんな視点から支援ができるようにすること。
2	全体共有で普段の療育にいかせている	学校での様子を全体で共有しているため、事業所での支援内容と学校での支援内容を似たものにしている。お子さんも一定した支援を受けることができる。	よりよい気づきを多くするために、会議等でさまざまな意見を出し合い、学校と共有していく。
3	多機能の事業所であるため、移行支援もスムーズである	入学時の前や後で、普段の情報と訪問支援の内容も担当者会議等で学校や園と共有ができるので、連携がとりやすい。	相談支援員さんや学校と連携し、情報交換の場を設定し、より早く情報交換ができるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービスと学校とで連絡調整の時間の確保が難しい	・学校終了後に来所する場所であるため、学校との時間軸の違いがある。	・学校が可能であればFAXやメールを使用しての連絡調整。送迎時にも担任の先生との会話を増やすこと。
2	訪問支援のサービスの受け入れが学校によっては温度差があること	保護者の要望から訪問支援の介入を求めても、忙しいなどと断られることがある。	・訪問支援のサービスの理解と受け入れ体制を整え、学校にも理解して受け入れてもらえるようにすること。
3			